

問合わせ先
第二管区海上保安本部海洋情報部
監理課長 長尾 道広
電話 022-363-0111 (内線 2510)



平成23年8月5日
第二管区海上保安本部

仙台塩釜港の水深測量の成果がまとまりました

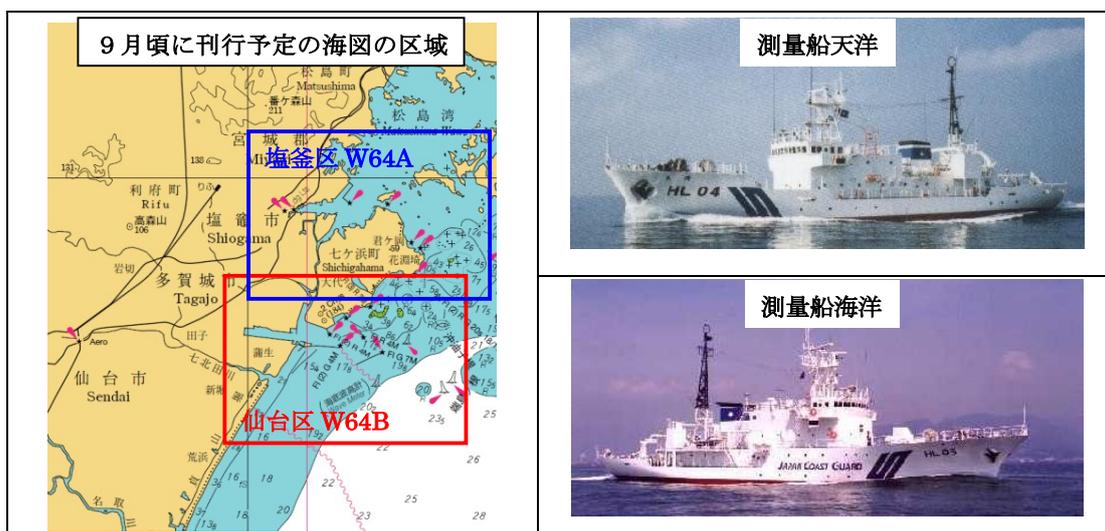
仙台塩釜港における航路の精密な水深測量の成果がまとまり、被災港湾では初めて、航路の水深などの現状を正確に把握できました。

第二管区海上保安本部では、東北地方太平洋沖地震により被災した管内の港湾について、水深の変化や海底の障害物の状況等を把握し、海図に反映するため、水深などの測量を実施しています。

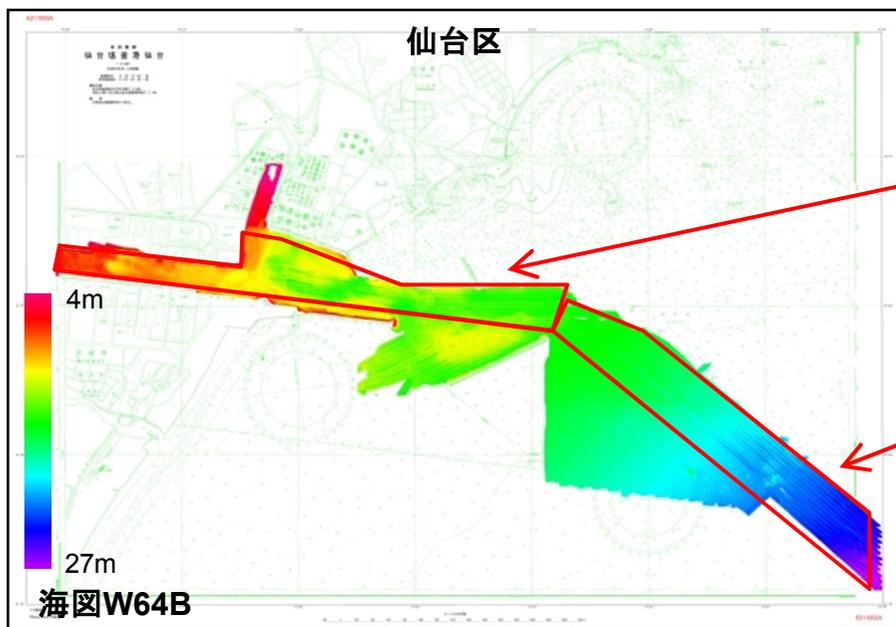
今般、4月下旬から5月中旬にかけて海上保安庁測量船「天洋」(430トン)及び「海洋」(550トン)により実施した仙台塩釜港における測量データ等の解析処理が終了し、以下のとおり、航路の詳細な状況が明らかになりました。

- (1) 航路の水深が全体的に0.5~1m程度深くなっていることが分かりました。これは、主に地盤変動の影響によるものと想定されます。
- (2) 塩釜区の多聞山と馬放島間の航路の部分では、水深が2m程度深くなっていることなどが判明しました。これは、特に津波の影響によるものと想定されます。
- (3) 一部では、水深減少や異状物が確認されました。これらについては、航行の安全のため、二管区水路通報で周知を行っています。

海上保安庁では、これらの成果を反映し改訂した海図を9月頃に刊行する予定です。



仙台塩釜港 測量成果



今までの水深よりも
約0.5m深くなっています。

今までの水深よりも
約1m深くなっています。

